

ター便を出していきこうじゃないかというのが私の考えでございます。来年には第2回として教育の側面から子供達と共に天津を訪問したいとも考えておりますが、これも皆様をはじめ関係各位のご協力があって実現するものでございます。

そして我々の最大のモットーは、函館の経済活性化の一つとして、ぜひとも天津函館間の定期航空路を成功させようじゃないか、ということなのです。もし実現できたとすれば、東北・北海道から中国を訪れる方々を函館に集中させることが可能であり、函館の経済を潤すことにつながるはずと期待しているのであります。

以上、皆様におかれましても、天津定期航空路への暖かいご理解を賜りまして、今後ともご協力ご支援のほどを切に願う次第でございます。

◎ 出席報告

会 員 数	71名	出 席 率	函 館 北	11月1日	86.76%
出 席 席	39名		函 館 東	10月31日	90.72%
欠 席 席	32名		函 館	10月26日	89.91%
他クラブ出席	20名		函館五稜郭	10月27日	100.00%
出席合計	59名		函館亀田	10月30日	92.16%
除 外 者	3名				

次回・11月29日

「 卓 話 」

プログラム

函館税務署 署長 笹田 良三郎 氏



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G.ブラウン 国際ロータリー会長テーマ

真心の行動 Act with Integrity  
 慈愛の奉仕 Serve with Love  
 平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



11月29日卓話 木村 史曉 氏

## 《第1563回例会》 第21号 11月29日(水)

### 本日のプログラム

「最近の税の話」

函館税務署 署長 笹田 良三郎 氏

★会 長 中野 亮 ★幹 事 遠藤尚孝

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
 例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 ニチロビル3階 23-3870

1995～1996

〈第1562回例会〉第20号

11月22日の記録

- ◎司会 中野 亮 会長 ◎斉 唱 それでこそロータリー
- ◎ビジター 函館R.C.近藤忠彦君・小林紀一郎君・元廣輝重君・梅津佐助君・森 祐平君、函館東R.C.八田俊男君・鎌田 剛君・井村守俊君・斉藤泰弘君・小田征之君・森 久恒君、  
函館五稜郭R.C.大日向豊吉君・田村政志君・渡辺一博君・佐藤 博君・上出眞也君・松浦百秋君・川上 誠君・名取晃一君・本田元清君
- ◎ゲスト 日本銀行函館支店長 木村 史暁 氏
- ◎会長報告 中野 亮 会長  
○情報委員会による家庭集会、終了しました。  
○函館R.C. から交換学生ポール君の送別会の案内が届きました。
- ◎幹事報告 遠藤 尚孝 幹事  
○友好クラブ千葉港R.C. と和歌山城南R.C. の会報が送られて参りました。  
○国際交流センターから「マレーシアのホームステイ」参加依頼が届きました。回覧しますので参加希望の子弟がございましたら幹事まで。  
○レートの変更、12月1日から現1 \$ 96円を1 \$ 100円に変更されます。財団などの寄付はお早めに。  
○新ロータリアン必携が再販されました。3冊1組で1,500円です。
- ◎親睦活動委員会 田守 真一 委員  
ニコニコBOX投入報告  
川村(姻)会員……家庭集会在無事終了しました。ご協力に感謝致します。  
森(秀) 会員……家庭集会欠席のお詫び。  
西尾 会員……BOXに協力。  
佐々木会員…… 〃  
澤 会員…… 〃  
小笠原会員…… 〃  
田守 会員…… 〃

◎卓話 「規制緩和の意義」 日本銀行函館支店長 木村 史暁 氏

## 1. 日本経済の現状

93年第四半期を底として景気回復局面に入っていると見られているが、しかし、同時に問題点もある。景気回復局面入り後2年近くを経過しているが、半数以上の経営者が景気の現状を「良くない」と判断している事、こうした経験は、かつて例のない事である。更に当面もっとも気掛かりな点であるが、製造業を中心として夏場頃から景況感の改善傾向が頭打ちとなっている。日銀ではこの傾向を「景気の足踏み状態」と表現、9月8日に日銀は公定歩合を0.5%と史上最低の水準にまで引下げたが、その最大の理由は、この景気の「足踏み状態」が続く可能性を懸念したためである。

景気「足踏み状態」の3つの要因は、①自動車の落ち込み（対米輸出の減少、国内販売の伸び悩み）これが鉄鋼に波及、②鉄鋼・化学等生産材のアジア向け輸出の不振（欧米メーカーの輸出攻勢、中国の引き締め政策）、③建設関連資材の在庫の積み上がり（阪神大震災復興仮需の剝落、住宅・公共投資の息切れ）。これらの要因により、過大な在庫が存在し、その在庫調整の為に生産を抑制せざるを得ない状態にあると見られている。

この「在庫調整」の動きはいつ終了し、景気は足踏み状態よりいつ脱するのか、結論から申し上げます、私は鉄鋼等一部を除き年内ほぼ完了し、今後予想外の事態が発生しない限り年明けには上向きに転ずるのではないかと見ている。その理由は、①今回の金利引下げの効果である。この効果により企業借入金の金利負担の軽減、為替や株式といった市況関係の好転、②9月20日に打ち出された「経済対策」の効果、等が上げられます。

## 2. 日本の構造問題

今日の日本には経済活動を制約する様々な問題があるが、今日はこれらの内で最も重要と思われる問題を一つ採り上げます。それは「世界的規模での市場経済の爆発的拡大とそれに伴う国際間の競争激化」という現象……mega-competitionの中で日本の産業構造の高度化という要請にいかに対応していくか。その為に企業経営者の創造的な活力をいかに引き出して行くかという問題である。日本の構造調整の痛み、貿易黒字、急激な円高、新興経済国も含む国際競争の激化、この問題を考える重要

なヒントが函館に転がっている気がする。

函館は地域としては日本よりも一足先に内需主導型の経済に転換済みである。函館は造船等の基幹産業の体質転換により深刻な雇用問題も発生したが、第3次産業中心の経済（函館の場合、観光産業の台頭が顕著）に転換している。今、日本経済が内需主導型の経済に転換しつつあるとすれば、函館が経験した様に深刻な雇用問題に直面する可能性が多分にある。予断を許さないといえよう。

今後の対応、構造調整の痛みをどの様に克服して行けば良いのか。それは、企業経営者の創造的活力をいかに引き出していくかという事である。その為には市場経済が本来もっているイノベーションを生み出す力を最大限に活用する事が鍵になると思う。思いきった規制撤廃などの構造政策の意義もここにある。よって「規制緩和、撤廃」を一時的流行語、政治的スローガンに終わらせては断じてならない。又この為に起こる短期的マイナス効果を過大視すべきではなく、それによって生まれる前向きな活力が新たな産業の発展、雇用の機会の創出に繋がる様にしていくべきである。又、産業構造の転換を論ずる場合、先端産業の育成のみを注目するのではなく、経済に重要な事は市場競争原理を活用する事によって、これまで生産性の低かった分野で生産性を引き上げ効率性を向上させる事である。それは、先端産業に限らず、様々な産業分野で新たなチャレンジの芽がまだ多く残されていると言う事である。

◎ 出席報告

会 員 数	71名	出 席 率	函 館 北	11月 8 日	89.71 %
出 席 席	47名		函 館 東	11月 7 日	87.63 %
欠 席 席	24名		函 館	11月 2 日	88.39 %
他クラブ出席	14名		函館五稜郭	11月 3 日	祝日休会
出席合計	61名		函館亀田	11月 7 日	96.08 %
除 外 者	3名				

次回・12月6日

プログラム

「年次総会」



The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

# 函館北ロータリークラブ会報

ハーバード G.ブラウン 国際ロータリー会長テーマ

真心の行動 Act with Integrity  
慈愛の奉仕 Serve with Love  
平和に挺身 Work for Peace

中野 亮会長テーマ ○



11月29日卓話 笹田 良三郎 氏

《第1564回例会》 第22号 12月6日(水)

本日のプログラム

「年次総会」

★会 長 中野 亮 ★幹 事 遠藤尚孝

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30～13:30 事務所：函館市大手町5-10 二チロビル3階 23-3870